

FX NEWS PRESS

2026年
10月号

2026年10月2日発行
FXニュースプレス
(No238)

AIゴールド証券
コンサルティング部
Tel: 03-6861-8181



今月の注目通貨ペア (P3)

米ドル円

日米高官の円安牽制発言と為替介入を要警戒

【各種掲載のご案内】

- ▶ HP内でもFX NEWS PRESSや週間のテクニカルレポートWeekly Reportsを公開！
- ▶ FXやコモディティ、株価指数の市場情報を日々更新！マーケットコメントで公開！

詳しくはホームページをご覧ください



AIゴールド証券

<https://www.aigold.co.jp>

AIゴールド証券株式会社 東京都中央区日本橋久松町12-8 03-6861-8181 金融商品取引業者 [関東財務局長(金商)第282号]
一般社団法人金融先物取引業協会会員 日本証券業協会会員 日本商品先物取引協会会員

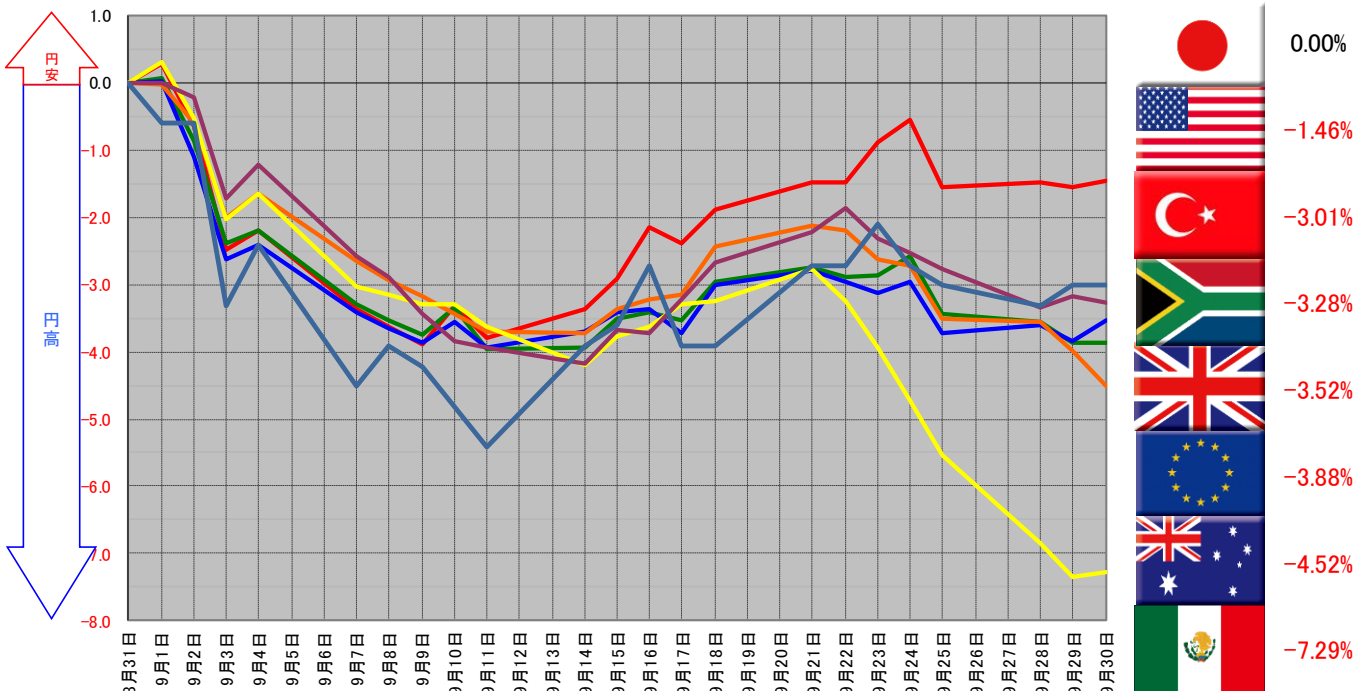
米ドル円 (基準値: 159.76) ユーロ円 (基準値: 185.55) ボンド円 (基準値: 216.42) 豪ドル円 (基準値: 114.49)
ペソ円 (基準値: 9.4) ランド円 (基準値: 9.91) トルコ円 (基準値: 3.32)

9月30日時点評価

基準日: 8月31日

順位

前月比



9月1日 米イラン戦闘激化懸念

ロイター通信は、米ニュースサイト「アクシオス」が米当局者の話として、米空軍が1日、ホルムズ海峡周辺のイランの標的を攻撃したと伝わり、WTI原油先物価格が約1カ月ぶりに1バレル=90ドル台半ばまで急騰。「有事のドル買い」も意識された。また、米インフレへの警戒から10年債利回りが一時4.7981%前後と昨年1月以来の高水準を付けたことも相場の支援材料となり、160.27円と7月31日以来の高値を更新した。

9月3日 米早期利上げ観測が後退

年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)が資産構成を見直して国内資産の配分を引き上げるとの観測が浮上。さらに、ウォラー米連邦準備理事会(FRB)理事はこの日の「ロイターネクスト」で、今後発表される経済指標でインフレ圧力の鈍化が確認されれば、政策金利の据え置きを支持すると発言。米早期利上げ観測が後退し、全般ドル売りが優勢となり、一時155.30円と8月3日以来1カ月ぶりの安値を更新した。

9月4日 米雇用統計

8月雇用統計で非農業部門雇用者数が16.2万人増と、予想の5.3万人増を上回り、過去2カ月分も上方修正されたことが分かったと全般ドル買いが先行。一時156.75円と日通し高値を付けたものの、すぐに失速。米長期金利が低下に転じたことやまとまった円買い・ドル売りが入り、155.36円まで急落した。ただ、8月3日の安値155.23円がサポートとして働くとして156円台前半まで下げ渋った。

9月10日 ECB政策金利

欧州中央銀行(ECB)はこの日、政策金利を予想通り0.25%引き上げた。声明では2027年と28年のインフレ見通しが上方修正されたほか、ラガルド総裁の会見内容も総じてタカ派的だったと受け止められ、ECB当局者筋の話として「10月の追加利上げもあり得ると見込んでいる」とも伝わった。米PPIの発表後には一時1.1592ドルまで下押し。その後、ECBの金利先高観を背景に1.1630ドル台まで下げ渋ったが、戻りも限られた。

9月11日 米消費者物価指数

米労働省が朝方発表した8月の米消費者物価指数(CPI)は概ね市場予想に沿った内容だったが、発表直後に米10年債利回りが4.98%前後まで上昇し、ドル円も154.48円付近まで上昇する場面が見られた。その後、いったん米債利回りが4.90%前後まで低下、ドル円も153.24円まで失速したが、来週の米連邦公開市場委員会(FOMC)で利上げが実施されると思惑が高まるなか、ドル売りの流れも長続きはしなかった。

9月16日 FOMC政策金利

米連邦準備制度理事会(FRB)は16日まで開いた米連邦公開市場委員会(FOMC)で、大方の予想通り政策金利を2023年7月以来約3年2カ月ぶりに引き上げることを決めた。政策金利見通しでは、中東情勢悪化を受けて原油価格が上昇する中、年内の追加利上げ想定が示された。これを受けて、米長期金利が再び5%台に上昇。ドル買い・円売りが加速し、一時156.42円まで上値を伸ばした。

9月18日 日銀金融政策決定会合

日銀金融政策決定会合で7対2の賛成多数で1.25%への追加利上げが決定された。しかしながら、高市政権が送り込んだ2名のリフレ派委員がそろって反対したことで、ハト派的な利上げと受け止められて157.33円までドル高・円安が進んだ。その後、植田日銀総裁は会見で具体的な利上げ時期や幅についての明言を避けたことで再び円売りを強めており、一時158円台乗せと9月3日以来の高値水準まで買われた。

9月23日 米利上げ観測強まる

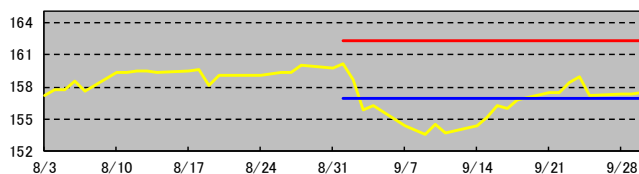
S&Pグローバルが発表した9月米製造業・サービス部門購買担当者景気指数(PMI)速報値が予想より強い内容だったことが分かったと、米連邦準備理事会(FRB)による追加利上げ観測が高まり、米長期金利の上昇とともに全般ドル買いが進んだ。日銀のレートチェックが実施された18日の高値158.05円を上抜けて、2時30分過ぎは一時158.40円まで上値を伸ばした。なお、米10年債利回りは2007年7月以来の高水準を記録した。

9月28日 三村財務官の円安けん制発言

欧州市場序盤に三村財務官が「円の過小評価は問題とする意向を日米両政府が共有したメッセージは非常にクリア」との認識を示したことが伝わり、介入警戒感が強まると円買いが強まり、一時156.51円まで値を下げた。また、円が全面高となった局面ではクロス円も軒並み売りに押され、ユーロ円は178.20円、ポンド円は207.67円、豪ドル円も109.91円まで下押し場面があった。

ドル円

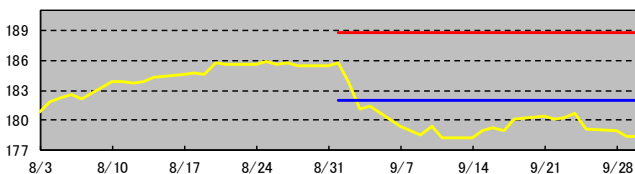
予想レンジ下限	予想レンジ上限
157.00	162.30



逆張り方針 評価【×】
コメント
予想レンジを下抜けた。

ユーロ円

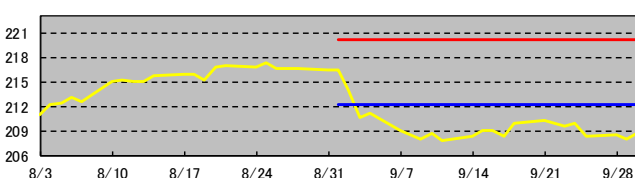
予想レンジ下限	予想レンジ上限
182.00	188.80



逆張り方針 評価【×】
コメント
予想レンジを下抜けた。

ポンド円

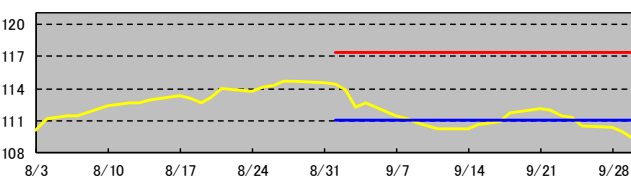
予想レンジ下限	予想レンジ上限
212.20	220.20



逆張り方針 評価【×】
コメント
予想レンジを下抜けた。

豪ドル円

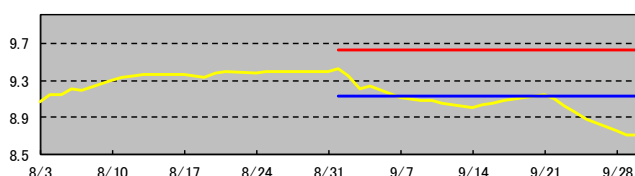
予想レンジ下限	予想レンジ上限
111.10	117.30



逆張り方針 評価【×】
コメント
予想レンジを下抜けた。

ペソ円

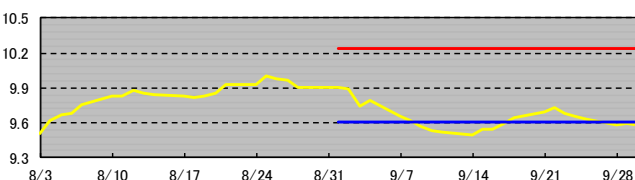
予想レンジ下限	予想レンジ上限
9.13	9.62



逆張り方針 評価【×】
コメント
予想レンジを下抜けた。

ランド円

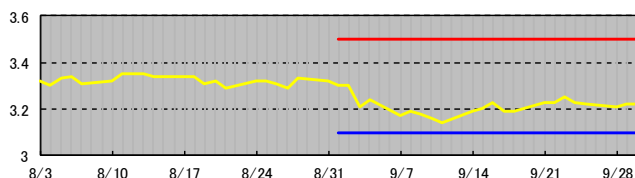
予想レンジ下限	予想レンジ上限
9.61	10.24



逆張り方針 評価【×】
コメント
予想レンジを下抜けた。

トルコ円

予想レンジ下限	予想レンジ上限
3.10	3.50



逆張り方針 評価【○】
コメント
予想レンジ内で推移した。

米ドル/円 【逆張り方針】

予想レンジ
↑ 160.90円
↓ 154.00円



2026年5月1日～2026年9月30日

米ドル/円 【日足】

移動平均線：-短期(21) -中期(89) -長期(200)



メイン
シナリオ 70%

実線は、2/19安値(152.69)をサポートに、切り返しの動きとなっています。21日・89日移動平均線は下降、200日移動平均線は上昇しており、方向感の無さが窺え、レンジ内での動きが予想されます。7/31高値(160.90)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、9月の値動きから導き出した計算値(154.02)がサポートになると予想しています。

リスク
シナリオ 30%

予想レンジの下限(154.00)を下抜けた場合。この場合は25/10/22安値(151.480)を試す展開が考えられます。

📅 今月の経済指標発表スケジュール

発表 時刻	イベント	結果	前回	注目度
10/1 22:45	9月製造業PMI		57.0	★★
10/1 23:00	9月ISM製造業景気指数		54.6	★★
10/2 21:30	9月失業率		4.10%	★★★
10/5 23:00	9月ISM非製造業景況指数		55.4	★★
10/14 21:30	9月消費者物価指数(前年比)		3.40%	★★
10/15 21:30	9月生産者物価指数(前年比)		5.40%	★★
10/16 21:30	9月小売売上高(前月比)		1.20%	★★
10/28 27:00	FOMC政策金利(下限～上限)		3.75-4.00%	★★★
10/29 21:30	9月個人消費支出(前年比)		3.40%	★★
10/29 21:30	第3四半期実質国内総生産、速報値(前期比年率)		2.2%	★★

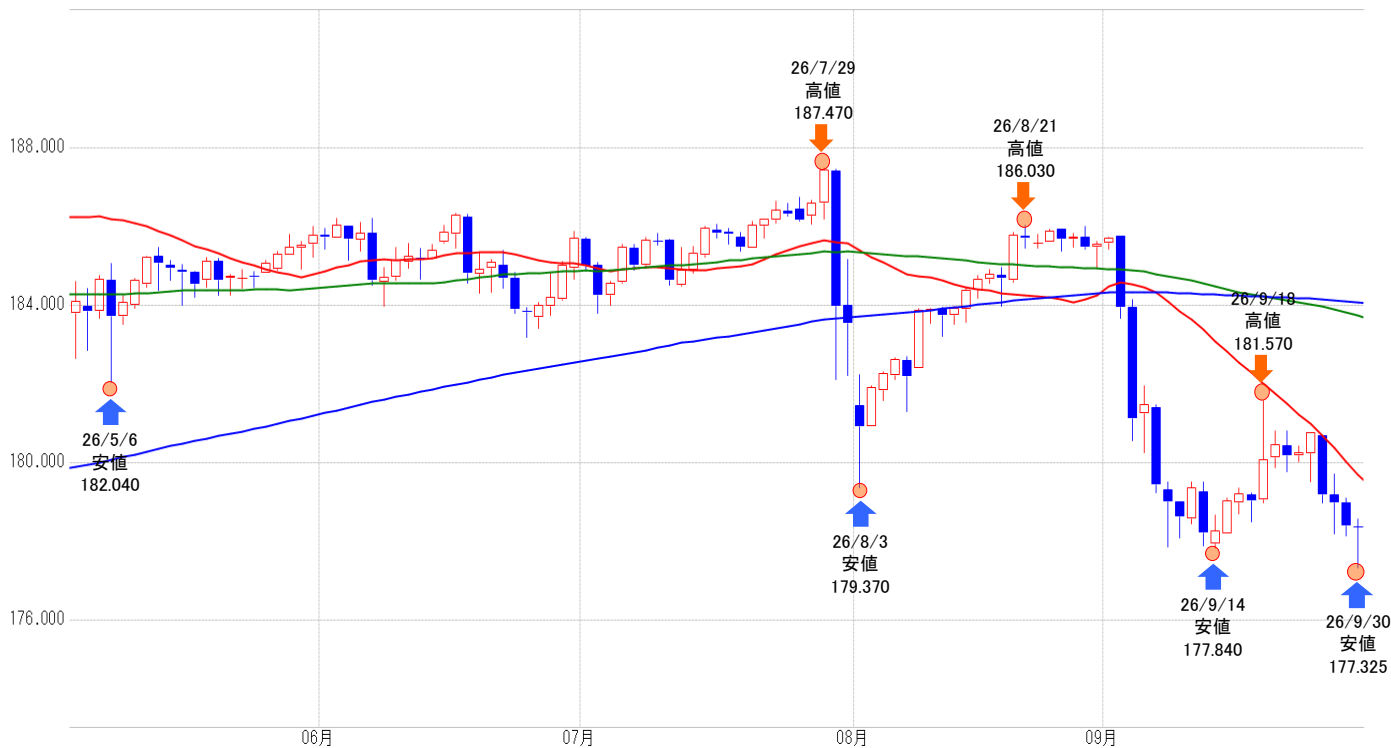
＜相場の格言＞大きな儲けの約束は果たさない(儲け話が大きくなるほど実現は遠のくものである。)



2026年5月1日～2026年9月30日

ユーロ/円 【日足】

移動平均線：-短期(21) -中期(89) -長期(200)

メイン
シナリオ 70%

実線は、短期のトレンドを示す21日移動平均線が抵抗となり、上値の重い動きとなっています。また21日・89日・200日移動平均線はいずれも下降しており、基調の弱さが示されつつあるものと考えます。9月の値動きから導き出した計算値(183.29)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、25/10/17安値(174.81)がサポートになると予想しています。

リスク
シナリオ 30%

予想レンジの下限(174.80)を下抜けた場合。この場合は25/9/1安値(171.87)を試す展開が考えられます。

📅 今月の経済指標発表スケジュール

発表 時刻	イベント	結果	前回	注目度
10/1 17:00	9月製造業PMI		52.7	★★
10/1 18:00	8月失業率		6.40%	★★★★
10/2 18:00	9月消費者物価指数(前年比)		2.40%	★★
10/5 18:00	8月生産者物価指数(前年比)		5.80%	★★
10/6 18:00	8月小売売上高(前年同月比)		0.60%	★★
10/15 18:00	8月鉱工業生産(前年同月比)		0.0%	★★
10/20 18:00	10月ZEW景況感調査		25.8	★★
10/29 22:15	欧州中央銀行政策金利		2.65%	★★★★
10/30 19:00	第3四半期域内総生産、速報値(前年同期比)		1.2%	★★
10/30 19:00	9月失業率		-15.5	★★

<相場の格言>人生は運・鈍・根(根は根気。鈍は鈍重、才走って賢い人は言われるほど成功しない。)

ポンド/円 【逆張り方針】

予想レンジ

↑ 214.20円
↓ 204.30円



2026年5月1日～2026年9月30日

ポンド/円 [日足]

移動平均線: -短期(21) -中期(89) -長期(200)



メイン
シナリオ 70%

実線は、9/7高値(211.22)が抵抗となり、上値の重い動きとなっています。また21日・89日・200日移動平均線はいずれも下降しており、基調の弱さが示されつつあるものと考えます。9月の値動きから導き出した計算値(214.18)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、25/11/21安値(204.32)がサポートになると予想しています。

リスク
シナリオ 30%

予想レンジの下限(204.30)を下抜けた場合。この場合は25/11/7安値(200.68)を試す展開が考えられます。

📅 今月の経済指標発表スケジュール

発表 時刻	イベント	結果	前回	注目度
10/1 17:30	9月製造業PMI、改定値		52.0	★★
10/6 17:30	9月建設業PMI、改定値		44.3	★★
10/15 15:00	8月月次国内総生産(前月比)		0.4%	★★
10/15 15:00	8月鉱工業生産(前年比)		2.6%	★★
10/15 15:00	8月製造業生産指数(前月比)		0.90%	★★
10/20 15:00	9月失業率		4.4%	★★★★
10/21 15:00	9月消費者物価指数(前年比)		3.10%	★★
10/21 15:00	9月小売物価指数(前年比)		3.4%	★★
10/23 15:00	9月小売売上高(前年比)		2.4%	★★

＜相場の格言＞群盲、象を評す(相場でも全体が見えないと部分だけで判断してしまいがちである。)

2026年5月1日～2026年9月30日

豪ドル/円 【日足】

移動平均線：-短期(21) -中期(89) -長期(200)

メイン
シナリオ 70%

実線は、短期のトレンドを示す21日移動平均線が抵抗となり、上値の重い動きとなっています。21日・89日移動平均線は下降、200日移動平均線は上昇しており、方向感の無さが窺え、レンジ内での動きが予想されます。9月の値動きから導き出した計算値(112.48)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、1/29安値(106.53)がサポートになると予想しています。

リスク
シナリオ 30%

予想レンジの下限(106.50)を下抜けた場合。この場合は25/12/25安値(104.29)を試す展開が考えられます。

📅 今月の経済指標発表スケジュール

発表 時刻	イベント	結果	前回	注目度
10/1 10:30	8月貿易収支	4.95億AUD	19.23億AUD	★★
10/6 8:30	10月ウエストパック消費者信頼感指数		84.4	★★
10/13 10:30	9月NAB企業景況感指数		-1	★★
10/15 9:30	9月新規雇用者数		3.95万人	★★★★
10/15 9:30	9月失業率		4.6%	★★★★
10/28 9:30	9月消費者物価指数(前年比)		4.00%	★★
10/29 9:30	第3四半期消費者物価(前年同期比)		4.00%	★★
10/30 9:30	第3四半期卸売物価指数(前年同期比)		3.60%	★★

メキシコペソ/円 【逆張り方針】

予想レンジ

↑ 9.090円
↓ 8.310円



2026年5月1日～2026年9月30日

メキシコ/円 【日足】

移動平均線：-短期(21) -中期(89) -長期(200)



メイン
シナリオ 70%

実線は、短期のトレンドを示す21日移動平均線が抵抗となり、上値の重い動きとなっています。また21日・89日・200日移動平均線はいずれも下降しており、基調の弱さが示されつつあるものと考えます。9月の値動きから導き出した計算値(9.085)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、25/11/10安値(8.310)がサポートになると予想しています。

リスク
シナリオ 30%

予想レンジの下限(8.310)を下抜けた場合。この場合は25/10/3安値(7.975)を試す展開が考えられます。

📅 今月の経済指標発表スケジュール

発表 時刻	イベント	結果	前回	注目度
10/1 24:00	9月製造業PMI		49.8	★★
10/8 21:00	9月消費者物価指数(前年比)		3.26%	★★
10/12 21:00	8月鉱工業生産(前月比)		0.50%	★★
10/22 21:00	9月失業率		3.01%	★★★★
10/27 21:00	9月貿易収支		6.05億USD	★★
10/30 21:00	第3四半期国内総生産、速報値(前年同期比)		2.10%	★★

<相場の格言>逆ザヤに売りなく、逆日歩に売りなし(順ザヤのサヤすべりの反対現象であるから売りは不利と考える。)



2026年5月1日～2026年9月30日

ランド/円【日足】

移動平均線：-短期(21) -中期(89) -長期(200)



メインシナリオ 70%

実線は、短期のトレンドを示す21日移動平均線が抵抗となり、上値の重い動きとなっています。また21日・89日・200日移動平均線はいずれも下降しており、基調の弱さが示されつつあるものと考えます。9月の値動きから導き出した計算値(9.775)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、25/12/17安値(9.225)がサポートになると予想しています。

リスクシナリオ 30%

予想レンジの下限(9.220)を下抜けた場合。この場合は25/11/25安値(9.020)を試す展開が考えられます。

📅 今月の経済指標発表スケジュール

発表 時刻	国	イベント	結果	前回	注目度
10/2 8:30	日本	8月失業率		2.40%	★★★
10/9 21:30	カナダ	9月失業率		6.40%	★★★
10/19 21:30	カナダ	9月消費者物価指数(前年比)		3.00%	★★
10/21 17:00	南ア	9月消費者物価指数(前年1比)		4.40%	★★
10/23 21:30	カナダ	9月全国消費者物価指数(前年比)		3.00%	★★
10/23 8:30	日本	8月全国消費者物価指数(前年比)		1.90%	★★
10/28 22:45	カナダ	カナダ銀行政策金利		2.25%	★★★
10/30 8:30	日本	9月失業率			★★★
10/30 時間未定	日本	日銀金融政策決定会合		1.25%	★★★

<相場の格言>騰げは別々、下げは一緒(相場上昇時は業種等によって別々に上昇するが、下落時は同時に下げる。)

トルコ/円 【逆張り方針】

予想レンジ ↑ 3.40円
↓ 3.10円



2026年5月1日～2026年9月30日

トルコ/円 【日足】

移動平均線：-短期(21) -中期(89) -長期(200)



メイン
シナリオ 70%

実線は、節目3.1円をサポートに、切り返しの動きとなっています。しかし21日・89日・200日移動平均線はいずれも下降しており、基調の弱さが示されつつあるものと考えます。8/31高値(3.34)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、9月の値動きから導き出した計算値(3.12)がサポートになると予想しています。

リスク
シナリオ 30%

予想レンジの下限(3.10)を下抜けた場合。この場合は9月の値動きから導き出した計算値の下限(3.01)を試す展開が考えられます。

📅 今月の経済指標発表スケジュール

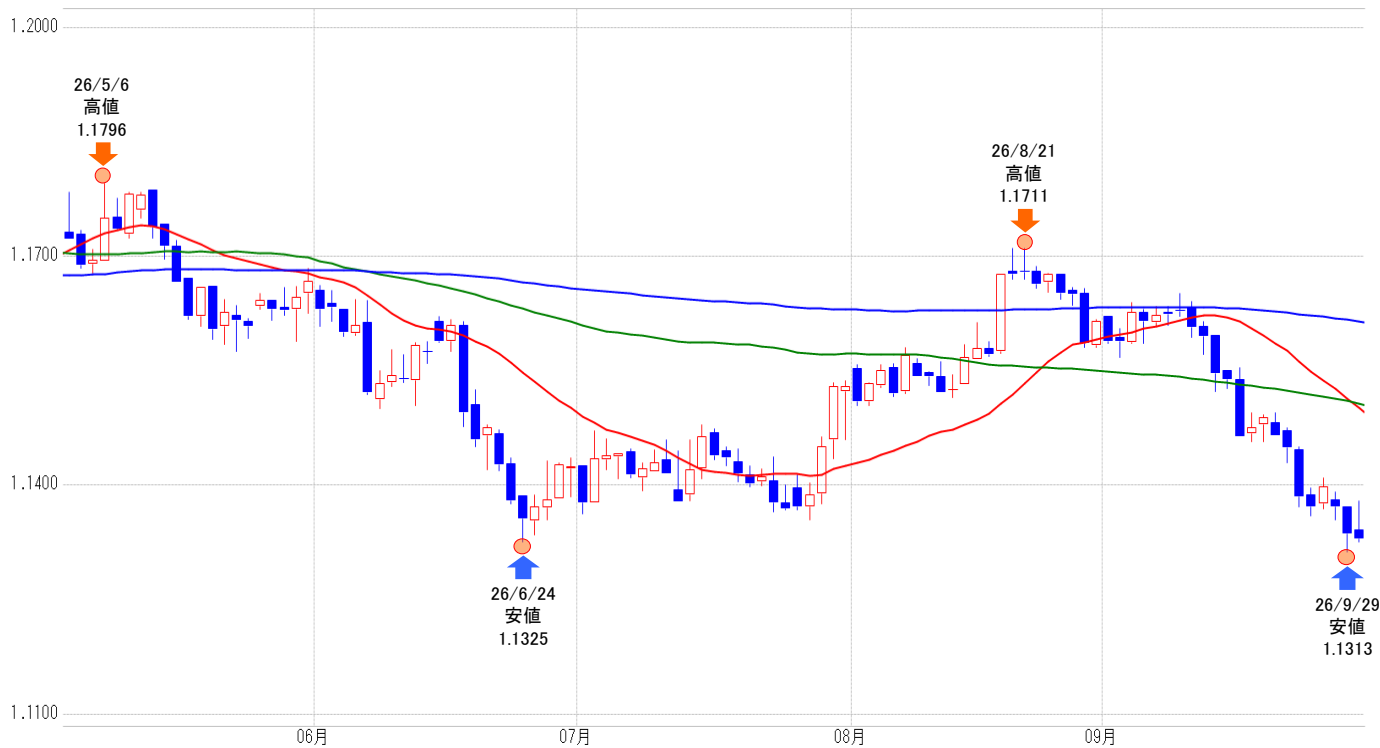
発表 時刻	イベント	結果	前回	注目度
10/1 16:00	9月製造業PMI		48.1	★★
10/5 16:00	9月消費者物価指数(前年比)		31.51%	★★
10/9 16:00	8月鉱工業生産(前月比)		-1.00%	★★
10/13 16:00	8月経常収支		0.4億USD	★★
10/22 16:00	トルコ中銀政策金利		37.00%	★★★★
10/27 16:00	9月失業率		7.80%	★★★★
10/28 16:00	9月貿易収支		-52.4億USD	★★

<相場の格言>逆ザヤに売りなく、逆日歩に売りなし(順ザヤのサヤすべりの反対現象であるから売りは不利と考える。)

2026年5月1日～2026年9月30日

ユーロ/米ドル 【日足】

移動平均線：-短期(21) -中期(89) -長期(200)

メイン
シナリオ 70%

実線は、8/28高値(1.1658)が抵抗となり、上値の重い動きとなっています。また21日・89日・200日移動平均線はいずれも下降しており、基調の弱さが示されつつあるものと考えます。9/21高値(1.1495)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、9月の値動きから導き出した計算値(1.1091)がサポートになると予想しています。

リスク
シナリオ 30%

予想レンジの下限(1.1090)を下抜けた場合。この場合は25/4/10安値(1.0949)を試す展開が考えられます。

e スワップポイント実績表 (月別合計/1枚あたり)

		ドル/円	ユーロ/円	ポンド/円	豪ドル/円	メキシコ/円	ランド/円	トルコ/円	ユーロ/ドル
25年	10月	5,336円	2,642円	6,841円	2,882円	5,318円	4,681円	779円	-24.19ドル
	11月	4,444円	2,349円	5,882円	2,480円	4,510円	4,210円	721円	-18.25ドル
	12月	5,538円	3,256円	7,578円	3,312円	4,897円	4,384円	879円	-21.36ドル
	1月	3,906円	2,101円	5,362円	2,412円	3,976円	4,075円	761円	-16.47ドル
26年	2月	3,723円	1,982円	5,124円	2,506円	3,997円	3,962円	718円	-16.09ドル
	3月	4,145円	2,493円	6,412円	3,333円	4,706円	4,833円	859円	-19.34ドル
	4月	4,835円	2,302円	5,915円	3,351円	4,551円	4,452円	941円	-15.95ドル
	5月	3,507円	1,863円	4,888円	2,885円	3,807円	3,796円	752円	-16.32ドル
	6月	4,066円	2,259円	5,545円	3,353円	4,309円	4,713円	814円	-15.70ドル
	7月	4,298円	2,495円	5,892円	3,425円	4,632円	4,992円	754円	-15.66ドル
	8月	3,625円	2,101円	5,041円	2,899円	3,954円	3,883円	697円	-13.80ドル
	9月	4,029円	2,354円	5,269円	3,217円	4,067円	4,117円	766円	-15.10ドル
	計	51,452円	28,197円	69,749円	36,055円	52,724円	52,098円	9,441円	-208.23ドル

<相場の格言>総強気は売れ、総弱気は買い(つきつめていけば、相場とはそういうものである。)



AI ゴールド証券

【免責事項】

- AIゴールド証券(株)は、本情報に記載の情報いづれについても、その信頼性、正確性または完全性について保証するものではありません。このような情報にはAIゴールド証券(株)により確認されていない情報が含まれていることもありますので、全てご自身のリスクでこれらをご利用下さい。本情報の中で述べられている意見は、表示の日付のAIゴールド証券(株)の判断であり、予告無しに変更されることがあります。記載内容は同意を得た場合を除き、他社に開示することはできません。
- くりっく365は為替レートやスワップポイント(金利差調整分)の変動に伴い損益の発生する商品であり、元本や収益が保証されるものではありません。
- くりっく365は取引の額が預託された証拠金に比して大きくなる(レバレッジ最大25倍まで)ため、差入証拠金以上の損失が生じる場合があります。また、建玉を維持するために追加で証拠金を差し入れる必要が生じる場合があります。
- くりっく365で提示する為替レートには価格差(スプレッド)があります。
- 手数料はお客様の選択された取引コースにより異なります。
【総合コース:1枚あたり片道1,100円(税込)。ただし、媒介口座をご利用の場合は1,100円のうち770円が媒介手数料となります】
【インターネットコース:AIゴールド証券1枚あたり片道0円。媒介口座1枚あたり片道220円(税込)。媒介口座をご利用の場合は220円のうち110円が媒介手数料となります】
- 注文の発注、およびポジションを維持するために必要な証拠金額は通貨ペアによって異なり、1枚あたり1,280円～83,590円(2026年10月1日現在)です。なお、必要証拠金額は所定の計算式により毎週見直されるため、変更される場合があります。
- お取引に際して、必ず契約締結前交付書面(取引所為替証拠金取引説明書)、為替証拠金取引口座設定約諾書、約款ならびにお客様向け資料の内容をよく読み、ご理解のうえお客様ご自身の判断でお取引ください。
- 「取引所FX くりっく365」は株式会社東京金融取引所の登録商標です。

【編集・発行】

AIゴールド証券株式会社 コンサルティング部

住所：東京都中央区日本橋久松町12-8 TEL：03-6861-8181(直通) E-mail：kawase@aigold.co.jp

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第282号 一般社団法人金融先物取引業協会会員 日本証券業協会会員

日本商品先物取引協会会員